



# ユツユツ とことん

うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

大仙市立太田中学校  
令和3年10月18日  
NO. 76



## 「いのちの大切さ」出前講座

### いのちはかけがえない大切なもの

「生命の尊重」に反し、近年、人の命が無残に奪われたり、自ら命を絶ったりと心を痛める事件が繰り返し起こっています。助産師の方々は、命の誕生のすばらしさに常に接している職業であり、「命の尊厳」について、子どもたちに伝えていかなければならないという強い思いをもっているそうです。その思いを行動に移すべく、秋田県学校保健連合会では、秋田県助産師会の方を講師とした「いのちの大切さ」出前講座を毎年行っています。

本校の基本理念の一つは「生命尊重」です。本校の自慢である花を育てる『花育』は、「命の尊さと命あるものを大切にする心」の醸成につながる、「生命尊重」理念の具現活動でもあります。

本校の願いと助産師の方々の強い思いは合致するところであり、本校では毎年のように、助産師の方々をお招きし、2年生を対象にして「いのちの大切さ出前講座」を開いています。講座の中で、命の誕生、生きることのすばらしさを学ぶことは、自己有用感や自尊感情の高揚にもつながりますし、生命は大切なものであることに気付き、自他の生命を大切にしていこうとする心を大きく育てることにつながるものと思っています。



その出前講座を、10月15日（金）に4人の助産師の方々を講師にお迎えして実施しました。



助産師の方から「助産師の仕事」「命の誕生、命の始まり、赤ちゃんが生まれてくる過程」「思春期のこの時期の悩み」「男女の意識や行動の違い」「自分らしく生きる、人間関係の構築」などについてのお話をうかがい、胎児人形を使った「赤ちゃんの抱き方体験」「妊婦体験」などの体験学習も併せて行いました。

一つの命がこの世の中に誕生することは何よりすばらしいことであり、その命を決して粗末にすることのないようにという願いがこめられた内容でした。子どもたちは、助産師さんのお話に真剣に聞き入り、笑顔で体験学習に取り組んでいました。



私事ですが、スライドの赤ちゃんの写真に、自分の2人の子どもの赤ちゃんの頃が重なり感慨深いものがありました。

講座後の子どもたちの感想には、「未来のためにいろいろ考えたい」「命について考えて過ごしていきたい」「周りの人たちの命も大切にしていきたい」「命を大切に、自分の人生を精一杯生きたい」「自分を育ててくれた親にはとても感謝している」「私を産んでくれた母に感謝の気持ちをもって生活したい」など、それぞれの感想が綴られており、個々に違いはあれど、改めて命の大切さを実感したようです。